

魅力とやりがいを感じる林業経営体を目指して

1. 飯石森林組合の中期経営ビジョン

「飯石森林組合では、バランスのとれた、循環可能な森林資源の充実と、その活用に努め、地域と組合員にとって、確かで、信頼され、役に立つ森林組合を目指すことを経営理念に、魅力ある職場づくりで若い人材を呼び込めるように『地域と森づくり5ヵ年ビジョン(R3～7年)』を策定。

経営理念『地域づくりと森づくり、それを支える人(職場)づくり』

- (1) 地域の役にたつ森林組合
- (2) 循環型林業を確実に進める森林組合
- (3) 若い人が魅力を感じる森林組合

【設立】平成16年

【自営面積】789ha

【組合員】3,934人

【職員】82人 R6.3末

2. 取組の経過及び概要

(1) 地域の役にたつ森林組合

地域の山とその周辺での諸課題や災害対応に、森林組合として雲南市・飯南町と連携。

(2) 循環型林業を確実に進める森林組合

デジタルコンパスやドローンを活用して森林資源を的確に把握し、タワーヤーダやフェリングヘッド付きフォーク収納型グラブバケットなど高性能林業機械を導入して作業効率を高め、一定量の伐採・出荷・植栽を達成することにより、循環可能な山林を形成。

(3) 若い人が魅力を感じる森林組合

「ザ・モリト＝森のプロフェッショナル」を育成するためチェーンソーによる伐倒の指導を強化したり、女性作業員のために屋外トイレユニットを導入したり、安全・安心で働きやすい職場環境の整備。



タワーヤーダ導入



木材流通センター開設



屋外トイレユニット導入



山の財産を地域に還元し、人々を幸せにするというところにつなげたい。そのためにもまず、従業員が生き生きと働き、安心して現場の仕事ができるような職場づくりをしていきたい。

木村守登 代表理事組合長

3. 取組の成果

(1) 地域の困りごと対応

住環境整備のため、スズメバチ駆除1件、除雪11件などを実施(R6.3末)。

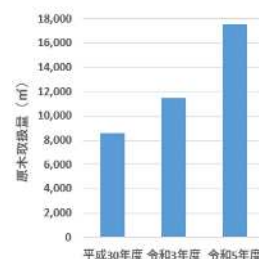


除雪作業

(2) 原木増産と低コスト化

木材生産量がH30と比較してR5は2.0倍。

1m³あたりの生産コストがH30と比較してR5は10%削減。



(3) 就業者の定着率向上

伐採技術の向上

R5しまね きりかぶグランプリ・島根労働局長賞・受賞(R6.3.22) 技術職員の確保

計画を策定したR3年度以降新規就業者の定着率が向上。



[採用と退職状況(H26～R6)]

区分		年度	採用	退職	定着率
ビジョン策定	前	H26～R2 7年間	15	6	60%
	後	R3～R6 4年間	8	1	87%



技術職員入組式



女性技術職員

4. 課題と今後の取組方向

(1) 組合員、職員が一体となり地域住民に役立つ支援活動の拡大を推進。

(2) 技術職員のチェーンソーなど基本的な機械の技術習得並びにICTや高性能林業機械の新たな技術を駆使した原木生産の拡大。

(3) 立木の伐採・利用から苗木の生産・植栽まで一貫して取り組み、循環型林業を実践することでSDGsに貢献。

<問合せ先> 東部農林水産振興センター雲南事務所
林業部 林業普及第一課 0854-42-9557